

【最近の日本に思う】

会員部会

PE0084 西川 理

インド・中国等の BRICs 諸国、さらには VISTA 諸国が台頭し、彼らに対抗すべくあるいは共存共栄すべく日本に於けるグローバル化と技術立国の必要性が叫ばれて久しい。しかし世の中むしろ英語の学力は低下しているという。しかも理科離れである。自分の息子を見ても、周囲に同調し文系へと流されている。2000 年に世界第 3 位であった日本の GDP は 2006 年にはなんと世界第 18 位。また国内新車販売台数が 1990 年に比べ 30%減というように車が売れなくなった原因も、興味が他に移ったというよりは車を買えない低所得者層が増えたためという解析結果がある。なのに相変わらず国会では道路特定財源の暫定税率を継続するのなんたの自分達の利権を守るようなことしか考えておらず、年金・医療・環境問題といった重要な課題に対しては一向に審議を急ごうとしないし、原油高・株安等の当面課題に対しても教育・食料自給問題等の長期課題に対しても対応も鈍い。日本を脱出しようとする人々が増えても不思議はない。でも大半の人は現状に不満ながらも便利な日本において日本人として生活していくのが心地よいのである。我々も日本人である以上は、現実から逃げるのではなく、日本の今の良い部分を維持するために、間違った部分はどんどん改善・改革し、明るい未来を築いていかなくてはならない。政府は iPS 細胞の研究など一部の先端技術には支援を惜しまないようになったが、それぞれの技術を組み合わせてももの作りする工学に関しては未だ無関心に近い。未来の青図を評価できるのは我々エンジニアであり、それを現実社会に具現化できるのもエンジニアだけなのだが。我々エンジニアは、たとえ国に失望したとしても、今こそ高い倫理感と誇りをもって、それぞれのプロフェッショナルな分野でそれぞれのやり方で、日本あるいは世界のよりよい未来の創造に熱意を傾けるべきであろう。

なんだか硬い文章になってしまいました。でもまあ初回なのでいいでしょう。

このコラム欄では会員の皆様の飛び込み投稿をお待ちしています。日ごろ思うこと、書籍の紹介、貴重な体験談、自らの趣味への誘い等なんでも結構です。我こそはと思う方は会員部会まで投稿ください。投稿者には次の回のコラム執筆者の推薦権を差し上げます。ということで、自薦投稿を挟んで、次回のコラムは松岡 PE さんをお願いいたします。